

川のシンポジウム 2026 第18回川の日ワークショップ関東大会 in 本庄早稲田の開催

小学生の川に関する活動発表や、専門家による生物や環境に関する講演のほか、水辺の活動に取り組む団体の発表を通じ、参加者の皆様とともに川を取り巻く環境について考えます。

- 日時 3月21日(土) 午後0時45分～5時
- 主催 川のシンポジウム2026：早稲田大学本庄高等学院・本庄市立藤田小学校・(公財)本庄早稲田国際リサーチパーク
川の日ワークショップ関東大会：同名実行委員会
- 後援 川のシンポジウム2026：埼玉県・本庄市・本庄市教育委員会
川の日ワークショップ関東大会：国土交通省関東地方整備局
- 会場 早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター（本庄市西富田1011）
3階レクチャールーム1
- 定員 100名（要事前申込・参加無料）川のシンポジウムはオンライン聴講可
- 内容

■川のシンポジウム 2026

活動発表 … 本庄市立藤田小学校、秋田県井川町立井川義務教育学校（オンライン発表）、三重県桑名市立長島中部小学校

講演 … 埼玉県魚類研究会代表 金澤 光 氏

■川の日ワークショップ関東大会 早稲田大学本庄高等学院ほか10団体程度

○その他：当財団では、藤田小5・6年生及び早稲田大学本庄高等学院河川研究班の生徒が地域環境学習として年2回実施している河川調査（平成17年より継続）を支援しています。調査では、NPOや行政と連携し、安全監視、用具準備、土手の整備などの協力を行っています。毎年3月には、調査結果や改善成果を小学生による活動発表を通して発信する本シンポジウムを開催しています。

今年度は藤田小に加え、秋田県井川町立井川義務教育学校が地域の川や湖で取り組むアオコ対策の水草育成についてオンラインで発表するほか、三重県桑名市立長島中部小学校が地域の治水の探求から作成した防災マニュアルについて発表します。

さらに「川の日」ワークショップ関東大会実行委員会との連携により、同名ワークショップも同会場が続けて開催します。川や水辺の活動に取り組む多様な団体の発表を通じて、子どもから大人まで幅広い世代が川に親しみ、学び、つながることで、地域全体の理解と関心を深め、環境保全行動につながるきっかけの創出を目指します。

- 添付資料 （チラシ2部）

問合せ先

- 本件記事に関すること

（公財）本庄早稲田国際リサーチパーク 担当：田中、坂本 電話 0495（24）7455

企画財政部 企画課 担当：田中 電話 0495（25）1157

- 広報全般に関すること 企画財政部 広報課 担当：谷田部 電話 0495（25）1155



川をフィールドにした活動を行っている小学生の発表や、専門家による講演などを通して、川を取り巻く環境について考えましょう。

川のシンポジウム 2026

参加費
無料

会場
オンライン
同時開催



2026年3月21日(土) 12:45~14:00

会場

早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター
レクチャールーム1 または、オンライン (Zoom)

申込方法

右記ページ内のフォームより事前申込
3月18日(水)〆切

オンライン参加をご希望の方に視聴用URLをメールでご案内します



<https://forms.gle/oorWT6AL3bDvZnZ9>

司会：早稲田大学本庄高等学院河川研究班

12:50~ 埼玉県本庄市立藤田小学校

「私たちの元小山川を守るために～きれいな川をとりもどそう～」

今年度の河川調査学習や結果の紹介と、元小山川をきれいな川に戻すために私たちが考えた取り組みを発表します。

13:05~ 秋田県井川町立井川義務教育学校

オンライン
参加

「こちら、井川子ども環境課！～風になりたい～」

井川町の4年生が10年以上取り組んでいる、地元NPOとの井川や八郎湖の環境調査、アオコ対策の水草育成などについて発表します。

13:20~ 三重県桑名市立長島中部小学校

「地域みんなの命を守る防災マニュアルを創ろう」

理科の学習を起点に、ドローン映像やモデル実験を用いて地域の治水史を科学的に探究しました。また、探究で得た水害リスクの認識をもとに地域みんなの命を守るための防災マニュアルを作成しました。

13:40~



特別講演 埼玉県魚類研究会代表 金澤光氏

「埼玉県の希少魚保全」

ゼニタナゴ、タナゴはすでに絶滅し、ミヤコタナゴも野生絶滅しています。このなかで、ミヤコタナゴを復活・再生させる取り組みを紹介します。

【主催】

早稲田大学本庄高等学院

本庄市立藤田小学校

(公財)本庄早稲田国際リサーチパーク

【協力】

NPO法人川・まち・人プロデューサーズ

【後援】

埼玉県・本庄市・本庄市教育委員会

【お問い合わせ】(公財)本庄早稲田国際リサーチパーク TEL 0495-24-7455

honjo-researchpark-chiiki2@howarp.co.jp



川仲間になろう!! 山も・川も・海も・里山も・田んぼも・街なかも・学校も… 第18回「川の日」ワークショップ関東大会 in 本庄早稲田

同日開催「川のシンポジウム 2026」(12:45-14:00)

参加募集!

18回目を迎える「川の日」ワークショップ関東大会は、全国の「いい川・いい川づくりワークショップ」とも連携し、川や水辺の活動に取り組む多様な世代、立場のひとびとの、流域や地域を越えた交流や情報共有、とくに、大学生や高校生、中学生など、若い世代の活動を発表、応援する場としても開催しています。募集により、川や流域だけでなく、里山、用水、池沼、海、田んぼ、水循環など、多様な水辺、テーマの取り組みの発表があります。日頃の活動を発表したい、「いい川」づくりの知恵や力を共有したい、仲間をつくりたい…みんなでつくる大会です。ぜひ、ご参加ください!



(前回の前橋大会 2025.3)

○日時:2026年3月21日(土) (11:30開場) 12:45開会 17:00閉会

○会場:早稲田リサーチパーク コミュニケーションセンター 3Fレクチャールーム1 ほか
(埼玉県本庄市西富田 1011) *アクセス <https://www.howarp.or.jp/access/>

◆主なプログラム(予定)

- 川のシンポジウム 2026:川をフィールドとする小学生の活動の発表、専門家の講演等 ※別紙ご案内
- 全体発表会:エントリー団体による取り組みの自由な発表(1件につき5分間)をもとに、質疑や意見交換により、たがいの取り組みのいいところを発見、共有します。
- ポスターセッション:それぞれのとりくみについて、対話、交流しながら深めていきます。
- 講評・表彰:ワークショップの成果を全員で振り返ります。

☆エクスカーション:本庄早稲田駅(新幹線)北側を流れる男堀川(利根川水系)で生物調査を行います!

- ・10:00 集合:早稲田リサーチパーク コミュニケーションセンター 2F ギャラリー
- ・希望者事前申込(定員 20 名、参加費無料、胴長、手網の貸与あり) ・講師:埼玉県魚類研究会 金澤光さん
- ・とれた生物は会場で水槽展示、大物賞の授与 ※詳細は別紙

◆募集しています! ※参加申込書は、裏面に

- 市民、住民、研究者、学生、子どもたち、企業、行政など、さまざまな主体、連携による川や水環境に関わる活動、研究等の発表グループ(個人も可)、川だけでなく、源流域、海、用水、池沼、干潟、里山、田んぼ、水循環など、多様な水辺、多様なテーマ、世代の取り組みを募集します!
- 活動・研究の内容などをまとめたポスターセッションへの参加
- 大会運営をサポートしてくれる人(準備、当日など、さまざまなサポートがあります)
- 当日は、どなたでも参加できます! ※参加費無料

・主催:第18回「川の日」ワークショップ関東大会実行委員会

・後援(予定):国土交通省 関東地方整備局

・協力:早稲田大学本庄高等学院、(公財)本庄早稲田国際リサーチパーク

関東大会サイト



《会場案内》

早稲田リサーチパーク コミュニケーションセンター

【上越・北陸新幹線】

「本庄早稲田駅」下車(東京から約50分)

南口より徒歩約3分

【JR 高崎線】

「本庄駅」下車(上野から高崎線特急で60分・普通90分)

*駅南口ロータリー1①より早稲田大学本庄高等学院スクールバス運行予定

(乗降:リサーチパーク 乗車料金120円)

(往路 発) 9:30、12:05 (復路 発) 17:23

※ご利用の際は予め事務局までご連絡ください

*昼食は各自ご用意ください(会場内の指定場所を利用できます)

○参加申込書 ※2026年3/8まで(発表希望者は2/28まで)にお申し込みください



以下の事項について、ファクシミリかメールにて事務局までお送りください(大会ホームページよりWord版がダウンロードできます。必要事項のメール送信も可)。発表、ポスターセッション参加希望者には、「発表・応募に関する要項」を送付します。 関東大会サイト http://tamagawa-c.jp/kanto_ws.html ↑

ふりがな 団体名			
主な活動場所・ 研究フィールド など	* 川や水辺の名称 川(水系) (他に地域名・名称等あれば.....)		
参加者 代表者氏名	ふりがな	参加人数(予定)名
連絡先 (団体・個人) 公開(可・不可)	〒 電話 URL:	メール	ファクシミリ
参加形態等 ※該当箇所(複 数可)に○印	()参加 ・ ()発表・ポスター展示へ応募 ・ ()運営サポーターとして参加 ・ ()エクスカージョンへの参加名 ※胴長:子ども・女性用()・M()・L()・LL()		
発表(ポスター展示含む)のテーマ、キャッチフレーズ、タイトルなど			
主な内容(アピールポイント) ※サポーター申込の方は、参加動機、自己アピールなど			
<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 			

【お申し込み・問い合わせ 大会事務局】 NPO 法人多摩川センター E-MAIL: tamagawa@tamagawa-c.jp
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 1-20-14 神宮村 301 電話 03-3479-0166 FAX:03-5772-1608 *担当:事務局 塚

一般参加自由(事前申込不要)です。どうぞご参加ください!

「川の日」ワークショップ・関東大会のあゆみ

日本の各地に“いい川”づくりを促進することを目的に、1998年に(全国)「川の日」ワークショップ(2008年よりいい川・いい川づくりワークショップに名称変更)が開催され、2025年で27回を迎えました。これまでの大会で、約1300件の発表、報告がありました。このワークショップは、住民・市民(団体)、河川管理者、学識者等により実行委員会を組織し、全国の川仲間呼びかけ、“いい川”とは何かを議論、共有するものです。2000年頃より全国各地、そして韓国でも同様のワークショップが開催されるようになり、こうしたワークショップが、さまざまな交流、ネットワークにつながっています。

「川の日」ワークショップ関東大会は、地域ワークショップの一つとして2005年に始まりました。関東地域の多様な世代、立場の川仲間や、大学生、中学・高校生、子どもたちの活動や研究の発表、交流の場とし、取り組みを応援するために開催してきました。日頃の活動を発表したい、“いい川”づくりの情報やエネルギーを共有したい、それぞれの取り組みを応援したい…、川仲間になる、川仲間をつくる大会です。

「川の日」ワークショップ関東大会について(大会ホームページ) www.tamagawa-c.jp/kanto_ws.html

●主催:第18回「川の日」ワークショップ関東大会 実行委員会 *順不同・敬称略、予定を含む
 ・共同代表:礪ちず子(よこはまかわをを考える会)、犬山清史(NPO 法人全国水環境交流会)、大平一典(NPO 法人あらかわ学会)、神谷 博(野川流域連絡会)、佐山公一(みずとみどり研究会)
 ・実行委員会:伊藤浩子(全国川ごみネットワーク)、上原幸子(NPO 法人砧・多摩川あそび村)、金澤 光(埼玉県魚類研究会)、小林一己(黒目川に親しむ会)、小堀洋美(東京都市大学)、伊納 浩、鈴木 誠、堂本泰章、三井元子(以上、NPO 法人あらかわ学会)、島村雅英(横浜エコアップ研究所)、白川直樹(筑波大学)、菅谷輝美(新河岸川水系水環境連絡会)、庄司邦昭(NPO 法人江東区の水辺に親しむ会)、竹内えり子(棟建設技術研究所)、鶴田 舞(国土交通省 水管理・国土保全局河川環境課)、寺村 純(大正大学)、前川智美(東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林フォレスト GX/DX 協創センター)、松井正澄(よこはまかわをを考える会)、山道省三(NPO 法人多摩川センター・NPO 法人全国水環境交流会)ほか
 《これまでに協力いただいた関係団体・機関》日本のいい川・いい川づくり研究会、河川協力団体 関東協議会、江戸川大学、東京農業大学、法政大学エコ地域デザインセンター、中央大学、筑波大学、東京都市大学 二子玉川夢キャンパス、立正大学 研究推進・地域連携センター、共愛学園前橋国際大学、NPO 法人あらかわ学会、新河岸川水系水環境連絡会、野川流域連絡会、みずとみどり研究会、多摩川流域懇談会、よこはまかわをを考える会、NPO 法人熊谷の環境を考える連絡協議会、NPO 法人全国水環境交流会 他